

令和元年度 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施計画

■基本目標:1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

施策の方向性

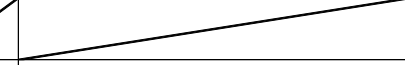
(1)しごと環境の創出

【具体的施策:①新たな雇用やしごと形態の創出】

「職員のマンパワー」による事業である場合、事業名に「O予算事業」と表記

()内の金額は総合戦略事業に係る事業費
は「未実施」、「廃止(終了)」した事業
 金額は当初予算ベースの金額(千円未満切上げ)

国の地方創生推進交付金事業を活用した事業については、
 (※地方創生推進交付金事業)と記載
 金額は当初予算ベース・6月肉付補正予算の金額(千円未満切上げ)

No	施策・事業名	概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
1	在宅就労事業	在宅就労を推進するためのサポート体制の整備やスキルアップ講座を開催するなど、クラウドソーシングなどによる在宅就労の効果的な運用を図る。	小規模ビジネス育成事業	3,000 (1,950)	ロールモデルとなる企業家を招いた講演会、就業者増加のための説明会及びスキルアップ研修等を実施 (※地方創生推進交付金事業)		市の補助事業は終了、本施策に取り組む団体をサポート
2	就労者居住奨励事業	定住を目的として市内へ転入する子育て就労者及び当該就労者を正規従業員として雇用する市内事業所や新規立地企業などに対し奨励金を交付し、子育て世帯を応援するとともに、就業環境の整備や福利厚生者の充実による安定的な雇用を支援することで、定住促進による人口増加と地域の活性化を図る。	就労者奨励事業				
3	企業立地促進事業	雇用創出や地域企業への生産誘発効果、立地企業の市外流出の防止、市内経済の活性化などを図るため、首都圏・中京圏などへの企業訪問や一部の団地への企業立地に対する助成金の交付などを通じ、企業誘致を積極的に推進する。	企業立地促進事業	675	ぐんま企業立地セミナーへの参加、用地取得に対する企業立地促進助成金の交付企業訪問等の誘致活動	49,285	誘致活動、ぐんま企業立地セミナー、企業立地促進助成金交付
4	桐生武井西工業団地整備事業	群馬県企業局と共同で「桐生武井西工業団地」を整備するほか、周辺道路の再整備を行い、安全交通や防災面などにおける交通機能の向上を図る。	武井西道路整備事業	8,188	・公共緑地の植栽工事 ・群馬県が実施する整備事業に負担金を支出		
			新里支所武井西周辺道路整備事業	8,500	周辺道路の測量設計委託	24,321	

【具体的施策:②創業促進・支援】

No	施策・事業名	概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
5	【重点】 空き店舗活用型 新店舗開設・創業促進事業	中心市街地の空き店舗対策補助事業を拡充し、補助対象となる地域を拡大することにより、空き店舗を改修し「新店舗」を開設しようとする事業者などに対する支援充実を図る。また、店舗開設のみならず、「事業所」の開設にも補助対象を拡大することにより、桐生市インキュベーションオフィス卒業企業などにインセンティブを与える仕組みづくりを行い、創業支援を受けた事業者などの市内定着を促進する。	空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業	7,144	中心市街地等の空き店舗を活用し、新店舗開設等を行う者に改修費用の一部を補助	7,500	中心市街地等の空き店舗を活用し、新店舗開設等を行う者に改修費用の一部を補助
6	【重点】 創業促進・支援事業	桐生市創業支援事業計画に基づく創業支援を行うほか、東武本町ビル2・3階の桐生市インキュベーションオフィスの運営を通じ、創業間もない経営者などに対して、きめ細かい支援を行うとともに、創業希望者への相談対応や創業促進イベントの開催などにより、創業機運の醸成を図る。さらに、東武本町ビル1階のコワーキングスペースが、創業に関心を持つ人をひき寄せる場となるように充実を図る。また、経営や起業の際の諸課題に対し、各種専門家などによる指導や講習を実施するなど、創業サポート体制の強化を図る。	創業者創出事業	18,011	「創業チャレンジ支援事業補助金」により、市内新規創業を促進 「インキュベーションオフィス」の運営 桐生市創業支援計画に基づき、関係機関と連携した創業支援を実施(※地方創生推進交付金事業)	20,422	「インキュベーションオフィス」の運営、創業者創出のための効果的な支援を実施
			小規模ビジネス育成事業【再掲】	3,000 (1,050)	「コワーキング・コミュニティスペース」の運営 潜在的な層を創業者に引き上げる効果的な支援を実施(※地方創生推進交付金事業)		「コワーキング・コミュニティスペース」の運営 市の補助事業は終了、本施策に取り組む団体をサポート

施策の方向性

(2)地場産業等の活性化

【具体的施策：①地場産業等の活性化】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
7		ローカルイノベーションの創出	地域企業との取組を支援する専門人材の育成・活用を図りながら、大学、研究機関、企業などの連携によるイノベーション・エコシステムの形成に努めるほか、市場情報や企業の経営戦略に資する情報提供や分析など、様々な角度から地域中核企業の成長に向けた取組に対する支援体制の整備を図る。	0予算事業		・地域中核企業への成長に向け、地域未来牽引企業をはじめとする市内中小企業に対し、販路開拓や開発・研究等の各種支援を実施 ・地域経済牽引事業計画の策定支援等 ・中小企業の設備投資を促進するための固定資産税特例の創設		・地域中核企業への成長に向け、地域未来牽引企業をはじめとする市内中小企業に対し、販路開拓や開発・研究等の各種支援を実施 ・地域経済牽引事業計画の策定支援等 ・中小企業の設備投資を促進するための固定資産税特例の実施
8		海外販路開拓支援事業	「台北テキスタイルフェア(TITAS)」や「JETROキャラバン事業」などへの参加を通じ、台湾・中国・タイ市場などへの更なる浸透を図るとともに、群馬県などと連携しながら他の国への事業展開を図る。	海外販路開拓支援事業	4,777	・「台湾ビジネスマッチング事業」を実施し、市内企業が台湾を訪問し、海外企業に自社技術や商品を直接アピールできる商談機会を創出 ・国際見本市「インターナショナルギフトショー」への出展を実施	2,725	インターナショナルギフトショーへの出展 海外展示会等への出展費用の補助 (※地方創生推進交付金事業)
9		中小企業新規取引先開拓支援事業	大規模展示会への市内企業との共同出展のほか、各種展示会への企業独自の出展や、国際認証取得に対し補助金を交付する。さらに、市ホームページ内に創設した「製造業ガイド」により、優れた技術を保有する市内企業の情報発信を行うなど、販路開拓を支援する。	中小企業新規取引先開拓支援事業	3,315	展示会等出展補助、ビジネスマッチングフェアの開催	5,229	展示会等出展の補助(海外展示会等出展含む) ビジネスマッチングフェアの開催 (※地方創生推進交付金事業)
10		桐生の逸品発信事業	「ものづくりのまち桐生」の卓越した技術による製品を、広く全国に発信し、桐生ブランドの定着を図る。	桐生の逸品発信事業	500	市長トップセールスを実施	450	市長トップセールスを実施
11		地場産業振興センター事業	地域経済の基盤強化と地域住民の福利の増進に寄与するため、地場産業の健全な育成を図る。	地場産業振興センター事業	72,707	地場産業振興センターへの補助を通じ、情報の収集提供、相談業務、人材育成、販路開拓等を実施	74,792	地場産業振興センターへの補助 管理運営事業、TPS開催事業、人材育成支援事業、情報収集提供事業
12		桐生市工房推進協議会補助	市内の家屋や工場などを活用し、工房設置を推進する。	工業振興事業	12,126 (990)	新規工房開設に係る経費の一部を補助した。(5件)	14,498 (1,500)	新規工房開設に係る経費の一部を補助
13		桐生市ぐま新製品・新技術開発推進事業	産学官連携などを通じて、新製品・新技術の開発により成長を図る市内企業に対して、群馬県と協調して開発費の一部を補助する。	産業活性化推進事業	1,791 (1,444)	桐生市と群馬県が連携し、中小企業や個人事業者の新技術・新製品開発にかかる経費の一部を補助した。(6件応募、4件採択)	2,160 (1,600)	桐生市と群馬県が連携し、中小企業や個人事業者の新技術・新製品開発にかかる経費の一部を補助
14		繊維産地インターンシップ事業	市内企業と大学、学生との連携を促進するため、市内繊維関連企業において、日本女子大学被服学科の学生を対象にインターンシップを実施する。	産業活性化推進事業【再掲】	1,791 (136)	日本女子大学の学生(1名)を受け入れ、群馬県繊維工業試験場において、インターンシップを実施した。	2,160 (288)	日本女子大学の学生を受け入れ、市内繊維関連企業において、インターンシップを実施
15		北関東産官学研究会連携支援事業	産学官連携による地域企業の成長を図るため、北関東エリアにおける産学官連携の中核的な機関である北関東産官学研究会の活動を支援し、産学官共同研究を促進する。	北関東産官学研究会連携支援事業	27,709	北関東産官学研究会への補助を通じ、地元の企業支援に重点を置いた広域的産業活性化策を推進した。	30,940	産学官共同研究助成事業等を補助 研究会事業補助、共同研究助成事業補助
16		人材養成事業	市内の中小企業が、一定の条件の下に行う研修及び通信教育の受講料の一部を助成する。	人材養成事業	1,182	中小企業に対する人材養成に係る研修受講料を助成した。 派遣研修:33事業所、受講者84人、招聘研修:2事業所、受講者45人	1,348	中小企業に対する人材養成に係る研修受講料の助成
17		職業能力開発事業	桐生地域の在職者や求職者に対して、職業に関する研修、講習、講座や施設の提供を行う。(桐生市職業訓練センターの運営)	職業能力開発事業	33,817	桐生市職業訓練センターの運営を通じ、各種研修、講座や施設の提供を実施した。利用人数809人	34,100	桐生市職業訓練センターの運営を通じ、各種研修、講座や施設の提供を実施

施策の方向性

(3)農林業の振興と成長産業化に向けた取組

【具体的施策:①農産物等の有効活用と担い手の確保】

No	施策・事業名	概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
18	農業後継者育成事業	新たに就農する農業後継者に奨励金を交付することにより、農業経営の安定化に寄与するとともに、農家の担い手となる若者の市内定住を促進し、本市農業の振興を図る。	農業振興事業	12,751 (100)	親元の農業経営継承を目指す者に奨励金を交付	25,145 (400)	親元の農業経営継承を目指す者に奨励金を交付
19	地域特産品等開発販売促進事業	黒保根産の旬の野菜や果物などを広く知ってもらうためのPRを行うとともに、地元産物を使った特産品(加工品など)の開発を行う。	黒保根支所地域活動推進事業	6,919 (3,485)	地域おこし協力隊によるデザインを通じた黒保根町の特産品の情報発信や特産品の開発を実施	7,578 (3,732)	地域おこし協力隊によるデザインを通じた黒保根町の特産品の情報発信や特産品の開発を実施
20	青年就農給付金事業	経営リスクを負っている新規就農者(45歳未満)の経営が軌道に乗るまでの5年間補助を行う。	農業振興事業 【再掲】	12,751 (1,500)	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対し、補助金を交付	25,145 (3,000)	次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者(今年度より対象年齢を50歳未満に緩和)に対し、補助金を交付
21	6次産業化推進事業	農畜産物における6次産業化を推進するため、経営の発展・多角化を図る取組に係る経費を補助する。	農業振興事業 【再掲】	12,751 (0)	生産振興事業者に対し、高品質化・低コスト化・ブランド化等に対する補助制度等を周知するとともに、志す者に対し支援	25,145 (0)	高品質化・低コスト化・ブランド化等を目指す生産振興事業を支援

【具体的施策:②森林資源の活用による林業の活性化と水源の活用】

No	施策・事業名	概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
22	【重点】森林・林業再生のための基盤整備	桐生の恵まれた森林資源を生かした生産・流通量の拡大や、ローコスト化による収益率の上昇を図るため、市場併設型木材ストックヤードの整備に対する支援や、木材生産及び生産流通用林業機械などの導入に対する支援を行う。また既存林道・作業道の機能維持、拡大による林業の近代化を推進することにより、新規就業環境などの改善にもつなげ、新卒者など林業未経験者の就業を容易にする環境整備を図る。	振興補助事業	25,934	木材生産及び生産流通用林業機械等の導入支援 林道・林道作業道の整備等	49,165	木材生産及び生産流通用林業機械等の導入支援 林道・林業作業道の整備等
			複合木材市場整備支援事業	42,532	国、県と共に、群馬県森林組合連合会が整備する高質材から低質材まで取り扱う複合木材市場の多機能集積集荷場の整備に対する支援を実施	平成30年度で整備完了のため、事業終了	
			林道開設事業(総合戦略)	40,884	複合木材市場施設への接続機能の向上を図るため、林道新設改良工事を実施	平成30年度で整備完了のため、事業終了	
23	水源の活用による産業の創出	山紫水明の地と称される本市の水源を活用した新たな産業の創出に向けた研究を行う。	環境都市推進事業	11,295 (108)	黒保根浄水場に設置した小水力発電設備の保守点検を実施 小水力発電について共同研究を行う群馬大学と北関東産官学研究会との打ち合わせを実施	10,531 (110)	小水力発電設備の保守点検等を実施しながら、小水力発電について研究
			0予算事業		水源を活用した産業創出に取組む自治体等について研究		研究を進めるとともに、報告書を作成

■基本目標:2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

施策の方向性

(1)移住・定住の促進

【具体的施策:①移住・定住情報の提供及び空き家等の活用】

No	施策・事業名		概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
24		「桐生暮らし体験ツアー」	お試し暮らし住宅などを活用しながら、桐生での生活の魅力が体験できるツアーの提供を行う。	定住促進事業	4,199 (2,485)	桐生の魅力体験ツアーを実施するとともに、ツアー参加者のレポートを雑誌に掲載 (※地方創生推進交付金事業)	1,599 (0)	平成30年度で事業終了
25	【重点】	移住・定住情報のPR戦略事業	桐生の魅力をはじめ、全庁的な移住・定住応援施策をまとめた情報をPRするための冊子などを作成するとともに、メディアなどを通じ、効果的に情報を発信するための手法・体制を整備する。	シティブランディング事業	684	「シティブランディング戦略」の策定、官民協働による推進体制の構築	526	「シティブランディング戦略」に基づく事業実施、推進体制の確立
				定住促進事業 【再掲】	4,199 (1,111)	移住施策をまとめたパンフレットを作成し、移住相談会等で使用 桐生暮らしの魅力を伝える「きりゆう暮らしセミナー」を1回開催 雑誌「田舎暮らしの本」、フリーペーパー「道の駅」への広告掲載 (※地方創生推進交付金事業)	1,599 (978)	移住推進用パンフレットの作成 メディアなどを通じた、効果的な情報発信や雑誌等への広告掲載
26	【重点】	定住促進(空き家対策推進)事業	「空き家・空き地バンク」による住居の相談、「お試し暮らし」や「空き家見学会」などによる桐生体験、並びに「移住相談会」を開催する。	定住促進事業 【再掲】	4,199 (603)	・「移住者との交流会」を1回実施 ・「空き家・空き地バンク」による住居相談の実施 ・「お試し暮らし」や「空き家見学会」の実施 ・「桐生暮らし相談会」の開催や、移住相談会への参加 (※地方創生推進交付金事業)	1,599 (621)	・「空き家・空き地バンク」による住居相談等の実施 ・「お試し暮らし」や「空き家見学会」の実施 ・「桐生暮らし相談会」の開催や、移住相談会への参加

【具体的施策：②移住・定住者への支援】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
27		空き家利活用補助	居住などのために空き家をリフォームする場合、または空き家を除却する場合の費用の一部を補助する。	きりゅう暮らし応援事業	24,453	・空き家利活用助成の対象要件を緩和した上で、空き家をリフォームして居住する者に対し、工事費の一部を補助 ・空き家の除却をする者に対し、工事費の一部を補助	25,207	・空き家をリフォームして居住する者に対し、工事費の一部を補助 ・空き家の除却をする者に対し、工事費の一部を補助
28		黒保根町定住促進住宅の整備	市外からの転入者などを優遇した賃貸用の定住促進住宅を黒保根町に建設し、英語教育など黒保根町ならではの取組と連携した総合的な定住促進を図る。	黒保根支所水沼定住促進住宅整備事業	141,966	定住促進住宅6棟を建設し、入居者を募集		平成30年度で整備完了。 引き続き、入居者募集のPRを実施
29		住宅取得応援事業	定住を目的として、桐生市内に住宅を建築又は購入する個人に対し、住宅取得費用の一部を補助する。	きりゅう暮らし応援事業	304,143 (284,348)	市内に居住を目的として住宅を建築・購入する者に対し、住宅取得費の一部を補助	223,551 (203,300)	市内に居住を目的として住宅を建築・購入する者に対し、住宅取得費の一部を補助
30		低廉な住宅用地の供給	子育て世代などに優遇策を付加した「川内町一丁目宅地分譲」や「ひまわり団地分譲」をはじめ、低廉な住宅用地の供給を行う。	0予算事業 (川内町一丁目宅地分譲)		平成30年6月完売		
				0予算事業 (ひまわり団地分譲)		宅地造成用地の売却及び売却促進のためのPRを実施		宅地造成用地の売却及び売却促進のためのPRを実施
31		黒保根支所定住促進奨励金事業	黒保根町に定住(10年以上)することを宣誓し、結婚・出産・新築・改築を行った場合に奨励金(祝金)を交付する。	黒保根支所過疎対策事業	193 (150)	過疎地域定住奨励金(新築等祝金1件)の交付	650 (600)	過疎地域定住奨励金の交付
				移住支援事業			11,200 ※補正	市内へ移住した東京23区に在住・通勤者のうち、県が選定した中小企業へ就職した者等へ移住支援金を支給し、就業・起業を伴う市内への移住を推進

施策の方向性

(2)地域の資源を活用した観光振興

【具体的施策：①地域の資源の有効活用】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
32	動物園観光促進ウェルカム事業		特色ある動物展示や体験型のイベントなどを一体となって実施するとともに、低速電動コミュニティバス“MAYU”を重要伝統的建造物群保存地区など中心市街地へ運行する。	観光推進事業	13,372 (5,535)	桐生駅を発着点とし、桐生が岡動物園・桐生が岡遊園地を経由し重要伝統的建造物群保存地区へMAYUを運行	11,097 (5,531)	桐生駅を発着点とし、桐生が岡動物園・桐生が岡遊園地を経由し重要伝統的建造物群保存地区へMAYUを運行
				桐生が岡動物園事業	32,299	イベントの継続実施、マップの配布 動物の飼育・展示及び動物に関する教育や自然保護活動を実施	34,098	動物の飼育・展示及び動物に関する教育普及活動を実施
33	重要伝統的建造物群保存地区公開施設整備		伝統的建造物を活用し、公開展示する施設を整備する。	重伝建公開施設整備事業	33,948	建物の現状を把握するための建物基礎調査及び、公開施設用地の土地を追加取得を行った	428	基本設計(修理方針の検討)
							8,712 ※補正	重伝建地区の町並み保存における活動拠点とするため、伝統的建造物を公開施設として整備するための設計委託を実施
34	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業		経年劣化による老朽化や震災などにより損傷している伝統的建造物(特定物件)の保存修理を継続的に実施し、防災対策として簡易消火栓や火災警報器などを整備する。さらに、自主防災組織と連携し、火災の早期発見や初期消火体制の構築に努める。	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業	34,711	伝統的建造物2棟の保存修理及び、地域の防災対策として無線式住宅用火災警報器の作動訓練を実施	25,547	重伝建地区としての特性を生かした整備の推進、修理、修景事業、防災対策事業の実施
35	歴史まちづくり整備事業		歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」を策定し、本市の歴史的風致の維持・向上を図るための整備事業などを推進する。	歴史まちづくり整備事業	545	平成30年1月に国から認定を受けた「桐生市歴史的風致維持向上計画」に基づく取組の実施、桐生市歴史まちづくり推進協議会の運営	684	平成30年1月に国から認定を受けた「桐生市歴史的風致維持向上計画」に基づく取組の実施、桐生市歴史まちづくり推進協議会の運営
							21,000 ※補正	桐生が岡公園と重伝建地区の相互の連携による周遊性を高め、魅力ある整備を進めるため、歩道や広場の設計委託、地域住民との意見交換を実施
36	郷土資料【桐生織物】展示事業		織物記念館の一部を活用し、織物を中心とした資料展示を行うことにより、織物の歴史、技術、製品などを広く紹介し、繊維産業の振興を図る。	郷土資料展示事業	9,000	繊維関連資料の展示・保存を継続実施 来場者数11,595人、企画展4回開催	9,000	繊維関連資料の展示・保存を継続実施
37	桐生独自のイベントの開催		歴史ある桐生祇園祭と郷土民謡の八木節を中心とした桐生八木節まつりの充実や誘客宣伝を強化し、全国区のイベントへと進化させるとともに、地域の伝統・文化を継承した新里まつりやくろほね夏まつりを開催する。また、グルメ・スポーツのイベントや市内周遊ハイキングを開催し、地域活性化を図る。(北関東三県ウまいもん合戦、四鉄道合同ハイキング、桐生市堀マラソン大会等)	まつり事業	17,300	桐生八木節まつり協賛会へ補助金を交付し、本市最大の観光イベント「桐生八木節まつり」を開催 ふるさと応援寄附金を活用してPRチラシ(日本語・英語)を作成し、首都圏でのイベント等で配布	17,300	桐生八木節まつりの開催 ふるさと応援寄附金を活用してPRチラシ(日本語・英語)を作成し、各所で配布
				観光推進事業【再掲】	13,372 (220)	四鉄道合同ハイキングを実施 新市民体育館建設に伴い「北関東三県ウまいもん合戦」を休止	11,097 (251)	四鉄道合同ハイキングを実施
				新里支所まつり事業	7,000	新里まつり実行委員会へ補助金を交付し、新里まつりを開催 まつり事業の運営協力	7,000	新里まつり実行委員会へ補助金を交付し、新里まつりを開催 まつり事業の運営協力
				黒保根支所一般経費	1,960 (150)	くろほね桜まつりの会へ補助金を交付し、くろほね桜まつりを開催	1,532 (150)	くろほね桜まつりの会へ補助金を交付し、くろほね桜まつりを開催
				黒保根支所まつり事業	2,500	くろほね夏まつりの会へ補助金を交付し、くろほね夏まつり開催 まつり事業の運営協力	2,500	くろほね夏まつりの会へ補助金を交付し、くろほね夏まつり開催 まつり事業の運営協力
				堀マラソン事業	15,286	桐生市堀マラソン大会実行委員会を組織し、「桐生市堀マラソン大会」を開催	16,360	桐生市堀マラソン大会実行委員会を組織し、「桐生市堀マラソン大会」を開催

【具体的施策：②観光拠点整備と効果的な情報発信】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
38	【重点】	インバウンド対策の強化	日本語版・外国語版（英語、中国語など）の観光PR映像を駅や観光施設で放映するほか、旅行エージェントやマスコミ関係者に配布することにより、誘客及び市内周遊の促進並びに東京オリンピックを見据えたインバウンド対策の強化を図る。	広域周遊観光促進事業	13,986	足利市や東武鉄道グループと連携し、東武鉄道浅草駅を玄関口とした訪日外国人観光客向けの旅行商品化や観光プロモーションを実施し、両市の歴史的文化遺産を活用した周遊観光「ヘリテージツーリズム」を推進 ・日本遺産周遊まちなかバス運行事業 ・観光ガイド養成事業 ・ヘリテージツーリズム促進ファムトリップ事業 ・インバウンド向け企画切符等事業 ・海外向け海外PRPV制作及び映像による情報発信事業 ・両市周遊化促進パンフレット作成事業 ・郷土伝統芸能八木節の映像資料作成及び上演（※地方創生推進交付金事業）	17,500	足利市や東武鉄道グループと連携し、東武鉄道浅草駅を玄関口とした訪日外国人観光客向けの旅行商品化や観光プロモーションを実施し、両市の歴史的文化遺産を活用した周遊観光「ヘリテージツーリズム」を推進 ・日本遺産周遊まちなかバス運行事業 ・観光ガイド養成事業 ・ヘリテージツーリズム促進ファムトリップ事業 ・映像等による情報発信事業 ・郷土伝統芸能八木節の上演事業 ・東武鉄道連携インバウンド向け企画切符支援事業 ・両市周遊化促進パンフレット作成事業（※地方創生推進交付金事業）
39		桐生観光協会の拠点整備（日本版DMO）	観光の拠点となる施設を整備し、日本版DMOの研究を視野に入れながら、民間活力を導入した旅行商品の企画・立案や、誘客宣伝事業に力を傾注することで、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。	赤城山観光振興事業	2,000	パンフレット作製による情報発信、モニターツアー等の実施（※地方創生推進交付金事業）	2,000	各種パンフレット作製、モニターツアー等の実施（※地方創生推進交付金事業）
				観光施設運営事業		・観光協会の事務局機能の民間移管の検討（費用対効果を含めたメリット、デメリット等） ・観光案内所の設置について検討（場所、予算等）	2,830 ※補正	令和2年2月に開設する群馬銀行桐生支店を活用して、観光案内や市政情報等の発信ができる（仮称）観光情報センターを開設し、まちなかの賑わいを推進
40		観光推進事業	メディアを活用し、市外・海外への誘客宣伝活動を実施するとともに、4つの鉄道の公共交通事業者や旅行エージェントと連携し、モニターツアーを実施する。また、ソウルフードの宝庫とも呼ばれる、本市の豊富な食文化を“食都”と位置付け、地場産業の象徴である“織都”と併せ、インバウンド需要も視野に入れた観光振興を図る。	観光推進事業【再掲】	13,372 (6,266)	・大手出版社や旅行社と連携した、桐生市を題材にした漫画制作・配信 ・日本遺産の構成資産や絹産業遺産を活用した産業観光の推進 ・「ツーリズムEXPOジャパン」等へ参加し、旅行エージェント誘致活動を実施 ・浅草における八木節の上演 ・市長のトップセールス『サロン・ド・G』や桐生大宣伝会事業等を実施 ・雑誌等への広告掲載 ・首都圏観光キャラバンやイベント等に参加し観光誘客を実施	11,097 (3,920)	・日本遺産の構成資産や絹産業遺産を活用した産業観光の推進 ・「ツーリズムEXPOジャパン」等へ参加し、旅行エージェント誘致活動を実施 ・浅草における八木節の上演 ・市長のトップセールス『サロン・ド・G』等を実施 ・雑誌等への広告掲載 ・首都圏観光キャラバンやイベント等に参加し観光誘客を実施
41		地域づくりインターン事業	大学生に短期間滞在してもらい、市内の飲食店や観光施設の取材、地域の慣習をはじめとした日常生活の体験を通じ、観光に特化した旅行企画を提案してもらうとともに、その旅行企画書に基づき、旅行エージェントなどを招聘し、モニターツアーを実施する。					

■基本目標:3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

施策の方向性 (1)結婚・妊娠・出産・子育ての支援

【具体的施策:①結婚・妊娠・出産のための支援】

No	施策・事業名		概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
42		婚活に対する支援	出会いの場を提供するため、婚活パーティーを開催する団体や世話人同士の情報交換会を通じ、出会いの場を設定する団体への支援を行う。また、より効果的に推進するため各団体と連携を図り、実施方法や周知方法についての研究を進める。	0予算事業		・婚活イベントを実施する団体等有する課題を共有しながら、課題解決に向けた方策を議論する場を設置 ・市が後援等を行うイベント等に対し、効果的な周知等を検討 ・桐生商工会議所の実施した婚活イベントの後援		・婚活イベントを実施する団体等と課題解決に向けた方策等を議論する会議を開催 ・市が後援等を行うイベント等について、効果的な周知等を実施
				社会福祉振興事業	96,401 (0)	社会福祉協議会の開催する結婚相談やセミナー等の婚活支援に関する取組を支援	96,056 (0)	社会福祉協議会の開催する結婚相談やセミナー等の婚活支援に関する取組を支援
				0予算事業		桐生地区農業経営士会の主催する婚活イベントの後援		桐生地区農業経営士会の主催する婚活イベントが開催された場合の後援等を実施
				女性・成人事業	380 (50)	桐生婦人団体連絡協議会への運営補助等を通じ、婚活を支援 桐生婦人団体連絡協議会の結婚サポーターとの情報交換会を実施	342 (50)	・桐生婦人団体連絡協議会への運営補助等を通じ、婚活を支援 ・桐生婦人団体連絡協議会で実施する結婚サポーター情報交換会及び婚活交流会を支援
43		不妊治療費助成事業	不妊治療費の一部を助成することにより、不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図る。	不妊治療費助成事業	6,576	不妊治療費及び不育症治療費の一部に助成金を交付	7,858	不妊治療費及び不育症治療費の一部に助成金を交付

【具体的施策:②子育て世代の負担軽減】

No	施策・事業名		概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
44	【重点】	新たな奨学金制度の整備	子育て世代の教育費の負担軽減を図るほか、群馬大学理工学部生の本市への定着促進や、大学などの卒業生のUターン・市内居住を目的として、優遇措置を付加した奨学金制度を整備する。	0予算事業		国の給付型奨学金制度の動向等を踏まえた制度設計の検討		国の給付型奨学金制度の動向等を踏まえた制度設計の検討
45		第3子以降給食費無料化事業	扶養第3子以降の小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒の給食費を全額補助する。	第3子以降給食費補助事業	32,850	第3子以降給食費の補助を継続実施	32,776	第3子以降給食費の補助を継続実施
46		第3子以降保育料無料化事業	保育園・幼稚園などに就園する扶養第3子以降の子どもの保育料を無料にする。	第3子以降保育料無料化事業	保育料軽減効果額 約112,960 うち 決算額 13,293 (844)	申請のあった591件の保育料を無料化	保育料軽減効果額 約80,000 うち 予算額 6,921 (100)	第3子以降保育料の無料化を継続実施
				就園奨励事業		申請のあった7件の保育料を無料化		就園奨励費補助を継続実施
47		黒保根町就学奨励事業	黒保根中学校の生徒が休日に登校するために利用するデマンドタクシーの運賃を補助する。また、黒保根町からわたらせ渓谷鐵道を利用し、高等学校などへ通学する生徒の通学費の一部を補助する。	黒保根支所就学奨励事業	877	わたらせ渓谷鐵道を利用して通学する高校生等の申請者26名に対し、通学費の一部を補助	1,309	わたらせ渓谷鐵道を利用して通学する高校生等に対し、通学費の一部を補助
				黒保根町就学奨励事業(対象:中学生)	57	休日に黒保根町デマンドタクシーを利用して通学する延べ190人の中学生に対し、補助金を交付	75	休日に黒保根町デマンドタクシーを利用し、通学する中学生に対し、乗車料金を補助

施策の方向性

(2)安心して子育てができる環境整備

【具体的施策：①安心して子育てができる環境整備】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
48	【重点】	子育て世代包括支援センターの整備	妊娠期から子育て期(18歳まで)の様々なニーズに対して、総合的に相談や支援を提供するワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを整備する。	子ども家庭総合支援拠点(職員人件費・一般経費)	6,212	「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、児童相談所等と連携して取り組む必要のある世帯に対して、社会的自立に向けた包括的・継続的な支援を実施	5,639	子ども家庭総合支援拠点の運営
				屋内遊戯施設運営事業	9,641	子どもの遊び場としての機能に加え、保護者同士の交流や子育てに関する相談ができる場を提供	9,904	屋内遊戯場「キノピーランド」の運営委託
				母子保健支援事業	7,067	妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援の実施	8,365	妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援の実施
				母子健康診査事業	10,081	・新生児聴覚検査、3歳児眼科屈折検査、5歳児健康診査を開始 ・乳幼児健診の実施	11,264	乳幼児健診等の実施
				不妊治療費助成事業【再掲】	6,576	不妊治療費及び不育症治療費の一部に助成金を交付	7,858	不妊治療費及び不育症治療費の一部に助成金を交付
49		産前産後サポート・産後ケア事業	妊産婦などが抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、助産師などによる相談を行うほか、産後に心身の不調又は育児不安を持つ母親を対象として、医療機関などにおいて、心身のケアや育児のサポートなどを行う。	母子保健支援事業【再掲】	7,067	産後ケア事業に加え、産婦健康診査事業や母乳外来助成事業、母子支援プログラムを実施	8,365	妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援の実施
50		病児保育事業	病気や病氣回復期の乳幼児や児童で、保護者に就労などの理由があり、家庭で保育できない場合に、病院や保育所などに付設された専用スペースなどにおいて、看護師などが一時的に保育する。	助成事業	260,333 (62,153)	民間保育所等に委託し、13施設で実施	290,897 (64,379)	民間保育所等に委託し、継続実施
51		放課後児童健全育成事業	仕事のため保護者が昼間家庭にいない児童などに対し、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。	放課後児童クラブ運営事業	225,638	市内小学生を対象に全17の小学校に27クラブを設置児童の健全育成に必要な施設・設備改修を実施	244,861	運営委託し、継続実施
				ファミリーサポートセンター事業	9,907	保育園・幼稚園・小学校への送迎や学校の放課後、放課後児童クラブ終了後の子どもの預かりと協力会員向けの育児援助に関わる講習会を実施	9,928	ファミリーサポートセンターの運営委託及び育児援助に関わる講習会の実施
				放課後子供教室推進事業	345	放課後や休業日等に安全に安心して活動する拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達にスポーツ・文化活動、地域住民との交流の機会を提供する放課後子供教室を市内2箇所で開催した。各9回実施	1,404	放課後子供教室の市内5箇所での実施に向け、令和元年度桐生市放課後子供教室運営委員会を開催。また同実施要項を策定し、関係機関との調整や必要人材の確保等を進めている。
52		いじめ等対策事業	児童・生徒に対する理解を深めるため、日常観察や面接・面談による方法に加えて、小5～中2の全児童・生徒を対象にQ-U検査を実施する。	いじめ等対策事業	1,537	桐生市いじめ問題専門委員会を開催 小中学生を対象にQ-U検査を実施	1,629	桐生市いじめ問題専門委員会を開催 小中学生を対象にQ-U検査を実施
53		ネット見守り事業	青少年の健全育成に悪影響のあるサイトや悪質な書き込みなどを見回り、ネットの現状をできる限り把握するとともに、子ども、保護者などを対象とした情報モラル講習会を開催する。	青少年対策事業	6,561 (414)	児童生徒のネット環境(SNSへの書き込み等)におけるネット見守り活動を継続実施 講演会の開催	6,784 (419)	ネット見守り活動の強化・充実と情報モラル教育の推進

施策の方向性

(3)特色ある教育の充実

【具体的施策：①特色ある教育の充実】

No	施策・事業名	概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
54	【重点】総合教育センター設置・運営事業	幅広い世代の教育・学習・相談の拠点や教員の研修場所としての役割を果たすとともに、教育行政方針で掲げる「桐生を好きな子供を育てる」の一助とするため、子育てと生涯学習の機能を併せ持った総合教育センターを設置する。	0予算事業		設置に向けた研究		設置に向けた研究
55	【重点】未来創生塾	群馬大学理工学部と産業界、行政などが協調して、地域の自然環境や歴史・文化・産業などを題材として子どもたちに体験型学習の場を提供し、将来の夢の発見や夢の実現に向けた行動を起こさせようとする活動を支援する。	未来創生塾支援事業	3,896	未来創生塾の活動を支援 ファッションタウン桐生推進協議会未来創生委員会へ補助金を交付するとともに、市有施設や市有バスの貸出などの運営協力	3,835	未来創生塾の活動を支援 ファッションタウン桐生推進協議会未来創生委員会へ補助金を交付するとともに、市有施設や市有バスの貸出などの運営協力
56	【重点】サイエンスドクター事業	将来の地域産業を支える人材を育成するため、群馬大学大学院理工学府の大学院生が、理科の授業における観察・実験方法などについて、企画立案・助言を行う。	サイエンスドクター事業	4,796	・幼稚園などにおいて幼児に対するプログラミング教育の基礎となる活動を実施(年8回実施) ・市内全中学校で事業実施(年390回実施) ・放課後科学クラブの実施(年30回実施) ・サイエンスフェスタの開催(年1回実施)	4,802	・幼稚園などにおいて幼児に対するプログラミング教育の基礎となる活動を実施 ・市内全中学校で事業実施 ・放課後科学クラブの実施 ・サイエンスフェスタの開催 ・小学校プログラミング教育に関する支援 ・サイエンスコミュニティの開催
57	織物体験事業	全市立小学校の3年生以上の1学年を対象に、桐生市の伝統産業である織物の講話や織機を使用した手織り製作の体験などを行う。	織物体験事業	818	各小学校3年生以上の児童一学年(学年児童全員)を対象に1回、各中学校特別支援学級生徒を対象に2回実施	821	各小学校3年生以上の一学年児童(学年児童全員)及び各中学校特別支援学級生徒を対象に実施
58	海外研修事業	キャリア教育を目的として、市立商業高校の生徒を台湾に派遣し、異文化を体験してもらうとともに、企業訪問や現地大学生との交流を行う。	商業高校海外研修事業	433	商業高校生5名の台湾での海外研修に係る費用の一部を助成		事業内容や方法について検討するため休止
			中学生海外派遣事業	4,921	将来世界で活躍できる人材育成を目的に、中学生10名を姉妹都市であるコロンバス市へ派遣	6,611	将来世界で活躍できる人材育成を目的に、中学生を姉妹都市であるコロンバス市へ派遣
59	国際理解推進事業	西町インターナショナルスクール交流事業を円滑に実施するため、黒保根小学校において英会話レッスンを実施するほか、レッスンの対象者拡大について検討を行う。	黒保根支所国際理解推進事業	4,897	黒保根保育園・小・中学校で英語指導を継続実施 小学校では全生徒を対象に年間31回～36回実施、夏休み期間中は12回実施 中学校では夏休み期間中、希望者を対象に11回実施したほか、2学期から受験対策として3年生の希望者を対象に毎週水曜日22回実施	5,211	黒保根保育園・小・中学校で英語指導を継続実施
60	黒保根支所西町インターナショナルスクール交流事業	黒保根小・中学校において、年間を通してホームステイ、田植え、キャンプを行うなど、姉妹校である西町インターナショナルスクールとの相互の交流活動を実施する。	黒保根支所西町インターナショナルスクール交流事業	611	年間を通してホームステイ、田植え、キャンプを行うとともに、西町インターナショナルスクールでの授業体験やTV会議を実施(小学校では年間10回、中学校では年間5回)	722	年間を通してホームステイ、田植え、キャンプを行うとともに、西町インターナショナルスクールでの授業体験を行う

■基本目標:4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

施策の方向性 (1)安全・安心で住みやすい環境づくり

【具体的施策:①地域防災体制の整備】

No	施策・事業名	概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
				決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
61	自主防災事業	防災アドバイザーに助言を仰ぎながら、自主避難計画の作成や自主避難訓練などの自主防災組織の活動を支援するとともに、土砂災害警戒区域などの対象自治会に対してハザードマップの作成・配布を行うなど、住民自らが地域防災の担い手となる環境を整備する。	自主防災事業	14,293	・自主防災組織等による防災訓練などの自主防災事業に対し補助制度を創設。平成30年度の申請は計10件。 ・土砂災害警戒区域等の対象町会において、住民懇談会を計9回開催。自主避難計画(リーフレット)を作成し、地域内に全戸配布した。	4,940	自主防災組織等による防災訓練などの自主防災事業に対する補助など、自主防災会の活動を支援。7月末時点で4件の申請。

【具体的施策:②保健・医療・介護体制やサービスの充実】

No	施策・事業名		概要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
62		在宅医療・介護連携の推進	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に対し、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行う。	在宅医療・介護連携推進事業	7,453	在宅医療介護連携センター事業委託(社会資源の把握、地域課題の抽出、相談支援等)	7,619	在宅医療・介護の連携推進のための事業(社会資源の把握、地域課題の抽出、相談支援等)
63		認知症対策の推進	認知症患者自身の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていることができる、良好な地域環境を構築する。	認知症総合支援事業	7,918	認知症初期集中支援チームの設置等	8,569	認知症初期集中支援チームの設置等
64		「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)の研究	アクティブ・シニアが健康時から終末期まで継続ケアを受けながら安心して老後を過ごせる仕組みとして、モデル事業の実施状況を検証しながら、「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)の研究を行う。	0予算事業		庁内勉強会等を開催し、調査研究を実施		庁内勉強会等を開催し、調査研究を実施
65		健康寿命の延伸	健康増進法健康診査、国保特定健康診査、後期高齢者健康診査や歯周疾患検診の充実により、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療などにつなげ、市民の健康増進を図る。また、がんの早期発見・早期治療を行うための検診体制の充実を図る。	特定健康診査事業	77,158	医療保険者に義務付けられたメタボリックシンドロームに着目した健康診査事業を実施	93,090	特定健康診査の実施
				特定保健指導事業	1,278	医療保険者に義務付けられたメタボリックシンドロームの予防と改善のための保健指導事業を実施	3,447	特定保健指導(動機づけ支援・積極的支援)の実施
				疾病予防費	19,492	被保険者の疾病予防のために行う人間ドック等の保健事業を実施	20,352	人間ドック等の保健事業の実施
				がん検診事業	111,084	・胃内視鏡検査及び乳がん検診への超音波検査を実施 ・各種がん検診等の検診を実施	114,875	各種がん検診等の検診を実施
				健康診査事業	6,894	・若年層を対象とした健康診査、歯周病検診、胃ピロリ菌検査ピロリ菌検診を実施 ・生活保護受給者等の40歳以上の者に対する健康診査の実施 ・肝炎ウイルス検診・歯周病検診の実施	7,778	各種健康診査の実施
				後期高齢者健康診査事業	85,846	後期高齢者の健康の保持増進のため健康診査を実施	92,302	高齢者の健康診査の実施
				後期高齢者人間ドック検診費助成事業	6,168	後期高齢者の健康を保持・増進させるため、人間ドック費用助成事業を実施	6,679	高齢者の人間ドック費用の助成
66		高度医療の確保	地域の中核病院である桐生厚生総合病院において、市民などに対して充実した医療を提供するため、医師の確保及び高度医療を確保していくための各種機器の導入をはじめとした医療機器整備や建設改良工事により、病院機能の維持や拡充、経営の安定化を図る。	病院事業債元利償還事業	236,666	地方公営企業繰出基準等に基づき、医療機器購入に係る病院事業債の元利償還金を負担	244,397	病院事業債の元利償還金を負担
				医療機器等整備事業	13,203	地方公営企業繰出基準等に基づき、医療機器等の整備に係る経費を負担	21,310	医療機器等の整備に係る経費を負担
				医師確保対策事業	47,957	医療クレークの確保、認定看護師資格取得、遠隔画像診断システムの導入等、医師確保及び医師の負担軽減を図るために実施される事業に対し、補助金を交付	45,002	医師確保等の事業に対し、補助金を交付
67		高齢者支援家庭ごみ戸別収集事業	ごみステーションにごみを排出することが困難な高齢者などに代わって、職員が自宅に出向き、ごみの収集を行うことにより、介護者及び家族の身体的苦痛の軽減を図る。	ごみ収集事業	424,922 (0)	生活系ごみの戸別収集を183世帯、8,372回実施(0予算事業)	429,696 (0)	生活系ごみの戸別収集を193世帯、2,802回実施平成31年4月1日～令和元年7月31日現在(0予算事業)

施策の方向性

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

【具体的施策：①環境先進都市実現に向けた取組】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
68	【重点】	「環境先進都市将来構想」の推進	「桐生市環境先進都市将来構想」を着実に推進するため、市民・事業者・研究機関で構成する「桐生市環境先進都市将来構想推進協議会」により、構想の実効性を高めるとともに、各主体がそれぞれの立場に応じた役割分担の下、相互に連携・協力を図りながら「環境先進都市」実現に向けた取組を推進する。また、本市が有する森林や豊富な水源などの地域資源を活用した取組を推進するほか、国が進める水素社会の実現に向けた取組を踏まえ、本市において考えられる水素・燃料電池に関する取組の研究を行う。	環境都市推進事業【再掲】	11,295 (11,187)	・桐生市環境先進都市将来構想推進協議会を開催するとともに、環境先進都市の実現に向けた各施策の推進・進管理 ・市民向け補助として、電動アシスト自転車、新エネルギー設備及び省エネルギー製品購入補助等 ・市内小規模企業向け補助として、省エネルギー設備(空調・LED等)の導入補助 ・JR桐生駅における電動アシスト自転車貸出	10,531 (10,421)	環境先進都市の実現に向けた各施策の推進・進管理、環境都市推進補助金、電動アシスト自転車貸出

【具体的施策：②計画的な地域づくりの推進】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
69	【重点】	中心市街地再生事業	産学官民連携による計画的な協議・検討などを通じて、中心市街地の再生に向けた適切な方向性について合意形成を図る。また、まちなかのリノベーション促進を図りながら、中心商店街の機能充実・魅力向上などを推進するとともに、人が集まり、自由に交流できるオープンスペースを増やすことにより、まちなか活力の向上も推進する。	商業振興事業	1,169	商店街の活性化を図るため、商店街団体等が実施する事業に対して補助金を交付(※地方創生推進交付金事業)	3,790	商店街団体等が実施するイベントや施設改修事業に対して補助金を交付
70	【重点】	立地適正化計画策定・推進事業	少子高齢化・人口減少社会においても効率的な生活サービスが提供できるように、福祉、医療、商業などの都市機能の集約を図るとともに、居住機能の誘導によりまちのまとまりを維持することで、各拠点を連携させた多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を図る。	立地適正化計画策定事業	8,498	「桐生市コンパクトシティ計画」の策定 都市計画マスタープラン変更の検討、住民意見反映措置(※地方創生推進交付金事業)		「桐生市コンパクトシティ計画」に基づく施策の推進
71		公共施設等総合管理計画策定・推進事業	本市が管理している全ての公共施設など(ハコモノ施設、インフラ施設、プラント施設など)について全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設などの最適な配置の実現を図る。	0予算事業		・公共施設等総合管理計画に基づく施設整備の推進 ・公共施設等総合管理計画個別計画骨子の作成		施設類型ごとの個別計画の策定に向けた調整
72		スポーツ施設整備事業	老朽化したスポーツ施設を、今の時代にあったスポーツ施設として再整備することで、スポーツの振興により市民の健康増進を図り、さらに市民が集まる場所の提供を行う。	スポーツ施設整備事業	139,860	桐生市運動公園において桐生球場附属球場の整備、全天候型テニスコートの人工芝張替えを行うとともに、新里補助グラウンドをソフトボール場として整備		平成30年度で整備完了のため、事業終了 桐生球場附属球場の整備 相生テニスコート施設改修工事 新里補助グラウンド改修工事
				市民体育館整備事業	426,965	令和2年度までの完成に向け、市民体育館整備工事、工事監理業務等委託を実施	1,279,743	令和2年度までの完成に向け、市民体育館整備工事、工事監理業務委託を実施
				陸上競技場整備事業	7	令和2年度までの完成に向け、陸上競技場設計業務委託を実施	296,809	令和2年度までの完成に向け、陸上競技場改修工事を実施

施策の方向性

(3)地域間連携に向けた取組

【具体的施策：①地域間連携に向けた取組】

No	施策・事業名		概 要	予算上の事業名	平成30年度		令和元年度	
					決算額 (千円)	実施内容	予算額 (千円)	実施内容
73		鉄道を基軸とした地域間連携の推進と沿線の活性化	市内4鉄道は、地域住民や観光客の貴重な移動手段となっていることから、新桐生駅のバリアフリー化に取り組むなど、各沿線自治体や関係機関と連携しながら、鉄道の利用促進と沿線のさらなる活性化に努める。また、東武鉄道は首都圏や近隣他都市と直結する縦軸、JR両毛線は JR水戸線とともに北関東を横断する横軸として重要な路線であることから、その整備促進の必要性を沿線自治体などと連携しながら関係機関への要望を行う。	軌道交通対策事業	97,965	・上毛電気鉄道㈱及びわたらせ渓谷鐵道㈱への運行補助 ・市内4鉄道沿線地域の振興・活性化等に向けた協議会等の開催 ・新桐生駅のバリアフリー化に向け、東武鉄道及び群馬県と協議・調整を実施	84,592	・上毛電気鉄道㈱及びわたらせ渓谷鐵道㈱への運行補助 ・市内4鉄道沿線地域の振興・活性化等に向けた協議会等の開催 ・新桐生駅のバリアフリー化に向け、東武鉄道及び群馬県と協議・調整を実施
				観光推進事業【再掲】	13,372 (1,351)	・両毛線沿線のほぼん列車たび事業を実施 ・両毛線沿線のほぼん連絡協議会の開催 ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議の開催	11,097 (1,395)	両毛線沿線のほぼん列車たび事業など、沿線周辺の活性化に向けた事業を検討
74		地域公共交通体系改善事業	誰もが安心して市内で生活を送るための持続可能な公共交通体系の構築を目指し、高齢者や障がい者などに優しいバス交通の利用環境を整備するとともに、駅を中心としたバスやデマンドタクシーなど地域公共交通機能の利便性の向上や市街地への移動の円滑化を図る。	バス交通対策事業	118,874	・東武りょうもう号との接続を考慮したおりひめバスのダイヤ改正 ・おりひめバス、デマンドタクシーへの運行補助 ・運転免許証返納者への無料乗車券等の交付 ・群馬大学理工学部学生へのバス回数券の交付 ・乗降調査等の実施	125,202	・おりひめバス運行事業検討委員会における見直し案の検討を開始 ・地元要望によるおりひめバス川内線の一部ダイヤ改正 ・おりひめバス、デマンドタクシーへの運行補助 ・運転免許証返納者への無料乗車券等の交付 ・群馬大学理工学部学生へのバス回数券の交付 ・乗降調査等の実施
75		北関東自動車道とのアクセス道路の整備促進	北関東自動車道は、市民生活の利便性の向上はもとより、観光振興や産業振興などに多大なる効果が期待されているため、群馬県や太田市と連携を図りながらアクセス道路の整備促進を図る。	0予算事業		・県道太田桐生線(太田強戸スマートICアクセス)バイパス整備に向け、群馬県をはじめとした関係機関と連携し取り組む ・必要に応じて「太田桐生地域広域幹線道路勉強会」を開催		・県道太田桐生線(太田強戸スマートICアクセス)バイパス整備に向け、群馬県をはじめとした関係機関と連携し取り組む ・必要に応じて「太田桐生地域広域幹線道路勉強会」を開催
76		群馬県との連携による道路整備(群馬県街路事業)	まちなかのにぎわいや活力の創出を図るため、群馬県と連携の下、幸橋線・赤岩線などの整備を行い、広域アクセス機能の強化などを図るとともに、まちのシンボルとしての新桐生駅の魅力や交通結節機能性の向上を図るため、新桐生駅東口駅前広場及び前面道路を整備する。	幸橋線整備事業	45,540	令和4年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出	27,000	令和4年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出
				幸橋線整備事業	32,273	用地買収、支障物件移転補償の実施		平成30年度で用地取得完了
				赤岩線整備事業	22,940	令和9年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出	55,500	令和9年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出
				赤岩線整備事業	22,785	用地買収、支障物件移転補償の実施	300,000	用地買収、支障物件移転補償の実施
				赤岩線周辺整備事業	25,722	用地買収、支障物件移転補償の実施	50,200	用地買収、支障物件移転補償の実施、工事
				新桐生駅周辺整備事業	33,300	令和2年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出	27,000	令和2年度の完了を目指し、群馬県が実施する整備事業に負担金を支出
				新桐生駅周辺整備事業	0	用地買収、支障物件移転補償の実施	3,487 ※補正 90,000	令和2年度完成予定の新桐生駅駅前広場整備に併せ、市営駐輪場や案内看板、誘導表示などを整備するための設計委託を実施